

公共施設に関する物件費

施設名	建設時期(年)	管理者	指定管理料(万円)
神楽門前湯治村	1995	(株)神楽門前湯治村	4,697
土師ダムサイクリングターミナル等	1971	(株)H・F・S	3,773
道の駅三矢の里あきたかた	2020	(株)道の駅あきたかた	2,700
たかみや湯の森	1998	たかみや湯の森運営協会	1,969
北の関宿「安芸高田」	2003	(株)神楽門前湯治村	1,095
エコミュージアム川根	1991	エコミュージアム川根運営協会	1,042
合計			15,276

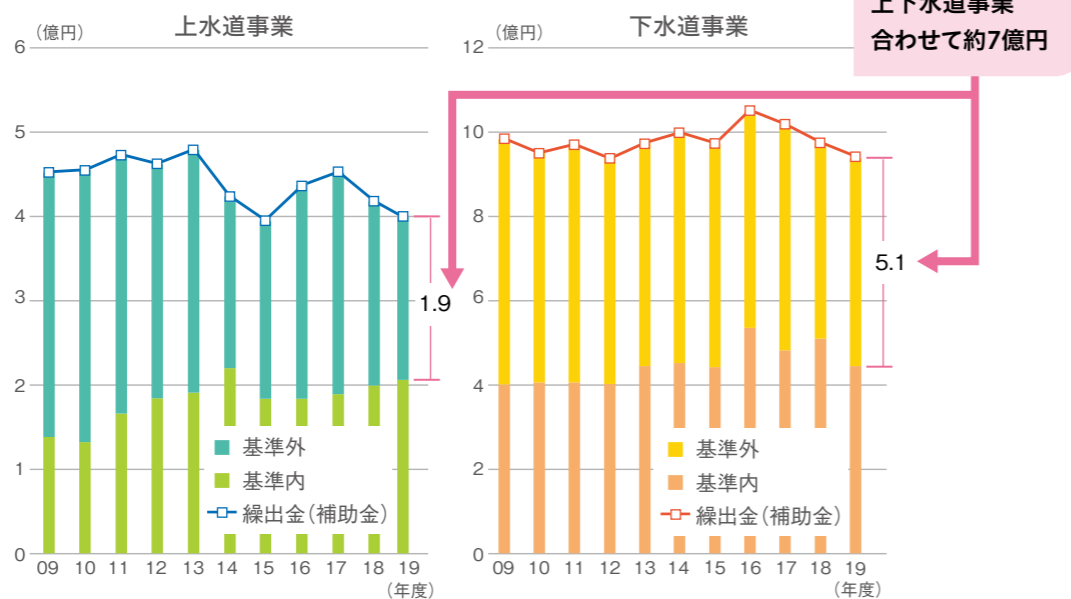
〈資料〉安芸高田市「2021年度予算」より

POINT
2021年度は約1億5千万円を産業系施設の運営に投入

解説

市は所有する産業系施設の運営を事業者へ任せ、その運営費として指定管理料を事業者へ支払っています。事業自体の収益力を高め、指定管理料を抑制していく方針です。

上下水道事業に対する繰出金



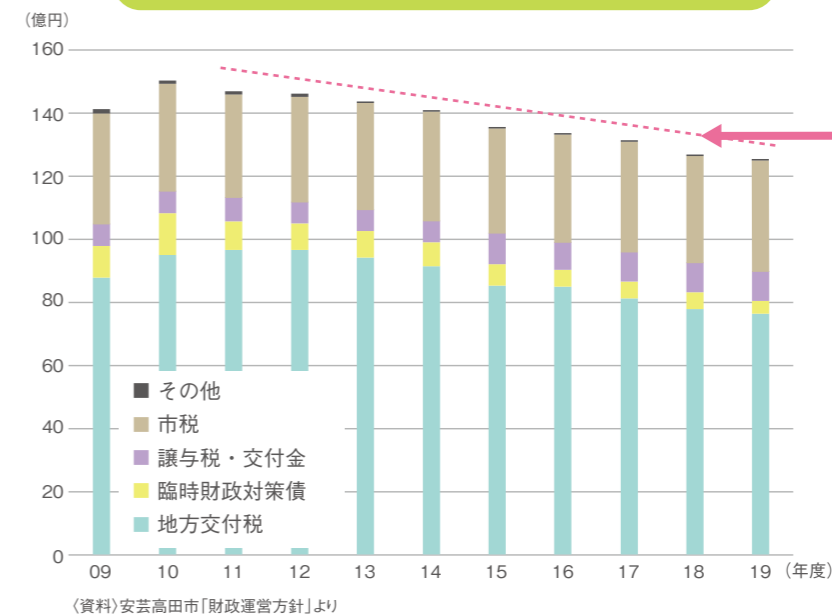
解説

上下水道事業に対する繰出金は、一般会計で負担すべきでない基準外が大半を占めています。受益者負担の原則に沿った健全な事業会計とし、基準外の繰出金を削減していかなければなりません。

今後の方針

市の将来のため、人口減少に対応した持続可能な財政運営へと切り替える必要が生じています。長年の課題である産業系施設に関する指定管理料や上下水道事業に対する繰出金は早急に見直さなければなりません。市民の皆さまには、ご理解とご協力をお願いいたします。

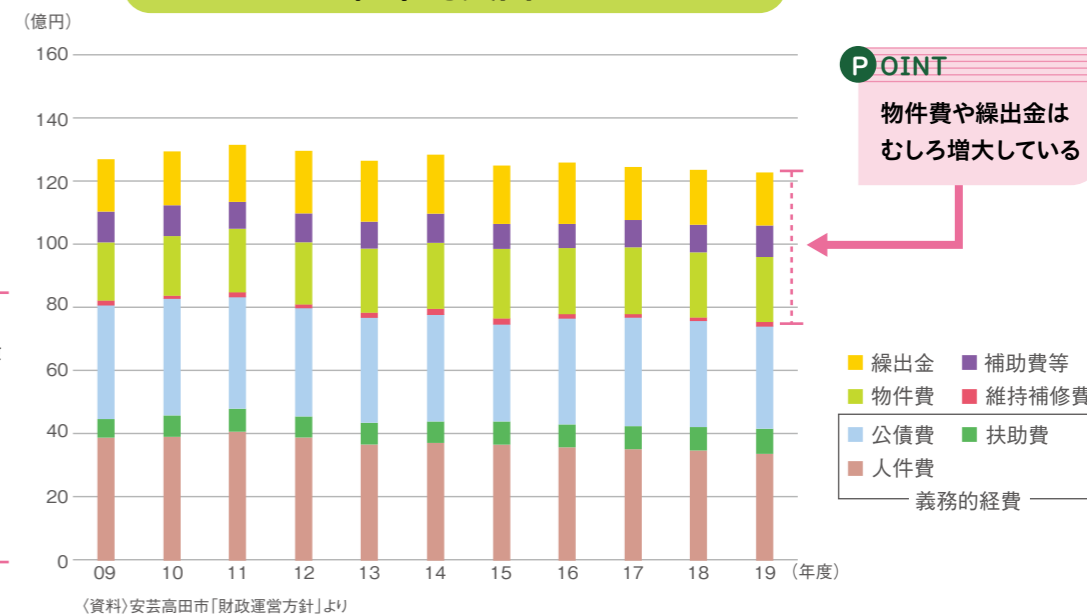
経常的収入



解説

人口減少に伴って経常的収入は減り続けています。地方交付税などは自治体の規模に基づいて計算されるため、今後も自動的に減っていく見込みです。市税の落ち込みを抑えるため、これまで以上に経済の活性化が重要となります。

経常的支出



解説

経常的支出は経常的収入に比べてあまり動いていません。内訳をみると、人件費などの義務的経費が減少する一方で、物件費や繰出金が増加しています。財政を持続可能とするためには、物件費と繰出金の圧縮が必要です。